

中小企業

とっとり

2025
December

No.815

12

令和7年12月1日発行

中央会

70周年記念式典・祝賀会
第77回中小企業団体全国大会
とっとりインターンシップ



「70周年記念式典」

Contents

中央会	2
ちいき組合情報	8
鳥取県中小企業景況	10
とっとりインターンシップ	12
INFORMATION	13
中央会の動き	15

価格適正化・賃上げ相談窓口を開設中

連携による地域課題解決と
革新による持続的な成長発展



鳥取県中小企業団体中央会

<https://www.chuokai-tottori.or.jp>



HP



FB

創立70周年記念式典開催 共創と挑戦の70周年 ～更なる飛躍で新時代を創る～

記念式典で挨拶する
岩崎会長

11月5日、鳥取市今町「ホテルニューオータニ鳥取」において中央会70周年記念式典・祝賀会を開催した。来賓として、平井鳥取県知事、佐藤全国中央会専務理事、原口大樹生命保険㈱社長をはじめ、県内外の関係機関、会員団体約170名が出席して創立70周年を盛大に祝った。

本会は、昭和30年「中小企業等協同組合法」改正による中央会の制度化とともに同年11月15日創立し、以来、70年にわたり会員並びに会員組合員等の支援を行ってきた。

記念式典は、国歌並びに中小企業団体の歌を斉唱のあと、岩崎会長から「この70年を振り返ると、高度経済成長期における中小企業の組織化支援、中央会共済制度の創設、青年・女性組織の発足、人材育成財団の設立など、当会は時代の変化を先取りし、全国にも先



祝辞を述べる平井知事

駆けた取り組みを重ねてきた。また、地域経済を支える中小企業の発展のために経営支援体制の強化を図るとともに、専門員や推進員の育成並びに組合士並びに中小企業診断士の育成に努め、常に現場に寄り添った支援を大切にしてきた。加えて、支援の拠点である本会本部事務所も昨年の11月に建て替えを行い、皆様にご利用いただけた環境も整うことができた。70周年を迎えた今、本会はこれまでの歩みを礎としながら、次の世代に向けて、組合運営に若い世代や女性の参画を促進し、多様性を活かした組織づくりを進めるとともに、地域資源を活かした新事業展開、デジタル化、人材の確保・育成支援など、時代を見据えた取り組みを

展開していきたい」と抱負を述べた。

続いて、長年にわたり中小企業振興に貢献があった優良組合及び功労役職員に対し、鳥取県知事表彰、全国中央会長表彰、本会会長感謝状が団体、個人に贈られ、功労をたたえた。

引き続き会場を移し記念祝賀会を開催し、全員で創立70周年の新たな門出を祝った。

この式典における栄えある表彰受賞者（組合）並びに感謝状贈呈者は次のとおり。



表彰を行う全国中央会専務理事

創立70周年 表彰・感謝状

(敬称略、設立年月日順・又は生年月日順)

鳥取県知事表彰

優良組合(9組合)

日ノ丸運輸交通協同組合
協同組合米子総合卸センター
鳥取県商店街振興組合連合会
鳥取県遊技業協同組合
賀露中央海鮮市場協同組合
境港市循環資源再生利用事業協同組合
鳥取県穀物検査協同組合
亜細亜未来事業協同組合
鳥取県東部地区生コンクリート協同組合

功勞役員(9名)

中村 隆
(智頭街道商店街振興組合・代表理事)
光 浪 房 夫
(鳥取県東部式典事業協同組合・代表理事)
森 本 省 治
(鳥取県解体工事業協同組合・代表理事)
森 田 桂 一
(亜細亜未来事業協同組合・代表理事)
吉 田 峰 雄
(鳥取市上水道事業協同組合・代表理事)
地 原 忠 実
(鳥取県パン協同組合・代表理事)
島 谷 憲 司
(境港鮮魚仲買協同組合・代表理事)
西 山 篤 夫
(赤帽鳥取県軽自動車運送協同組合・代表理事)

功勞職員(9名)

伊 藤 孝 一
(中部砂利生産協同組合・代表理事)
西 村 和 子
(紺屋町商店街振興組合)
木 山 孝 文
(日野建設業協同組合)
安 田 修 一
(菌興椎茸協同組合)
吉 村 省 三
(米子管工事業協同組合)
野 島 由 美 子
(中部管工事業協同組合)
木 村 晴 美
(協同組合和田浜工業団地)
三 橋 益 世
(鳥取県東部再生資源事業協同組合)
山 形 邦 子
(協同組合鳥取鉄工センター)
松 本 恵 子
(協同組合米子鉄工センター)

全国中小企業団体中央会会長表彰

優良組合青年部(2組合青年部)

鳥取県環境整備事業協同組合青年部
協同組合米子鉄工センター青年部

鳥取県中小企業団体中央会会長感謝状

鳥取県中小企業青年中央会会長(10名)

牧 田 継 夫
松 岡 秀 樹
牧 井 健 一
濱 田 修
林 正 太 郎
富 田 充 信
永 井 拓 未
安 岡 大 輔
菅 埜 高 典
足 立 駿

鳥取県東部中小企業青年中央会会長(10名)

清水 隆 文
井 上 高 誠
千 馬 友 士
茶 谷 雅 之
吉 田 祐 一
松 島 雄 仁
田 中 泰 輔
西 原 大 輔
岡 原 正 実
藤 原 正 実

鳥取県中部中小企業青年中央会会長(10名)

横 山 裕 芳
松 下 裕 基
永 川 将 操
大 嶋 剛
美 甘 徳
渡 邊 高 典
菅 埜 典

鳥取県西部中小企業青年中央会会長(10名)

古 川 大 智
門 脇 一 路
三 嶋 一 樹
松 田 幸 紀
竹ノ内 賢 一郎
三 輪 龍 介
秋 里 武 信
山 口 尚 文
高 塚 康 治
奥 森 秀 夫
高 井 賢 一
中 村 友 紀
永 井 拓 未

鳥取県中小企業団体中央会青年部会長(4名)

服 島 龍 男
山 崎 弘 嗣
松 下 裕 樹
安 田 雄 哉

鳥取県女性中央会会長(9名)

田 村 閑 美
諸 吉 陽 子
藤 井 真 弓
堀 田 登 美
福 嶋 和 代
能 見 直 子
佐 伯 美 穂
滝 口 正 子
濱 口 正 子

創立70周年記念祝賀会を開催

本会は11月5日、鳥取市「ホテルニューオータニ鳥取」において、記念式典に引き続き、多数の来賓並びに組合代表者、関係団体等の出席を得て、祝賀会を開催し盛大に祝った。

冒頭、主催者を代表し岩崎会長が「創立70周年を迎え、記念式典と表彰を執り行い、受賞者の皆様のご功績を称えました。新たな節目にあたり、今後も中小企業支援により一層努めてまいります」と挨拶。続いて石破前内閣総理大臣よりお祝いのビデオメッセージを頂戴した後、来賓を代表して中原鳥取県副知事・深澤鳥取県市長会会長（鳥取市長）・原口大樹生命保険株式会社社長よりご祝辞を頂戴した。

その後、当会の創立70周年を記念し制作した「中央会70年のあゆみ」を上映し、歴代会長や沿革を紹介するとともに、関係団体の活動や今後に向けた取り組みなど、70年を振り返った。

（総務部 亀井）



中原副知事よりご祝辞



石破前内閣総理大臣よりビデオメッセージ

持続的な発展に向け 組合が担う役割について学ぶ

中央会創立70周年記念講演会を開催

本会は、11月5日、鳥取市「ホテルニューオータニ鳥取」において、中央会創立70周年記念講演会を開催した。

明治大学政治経済学部・専任教授森下正氏を招聘し「これからの組合の役割と持続可能社会に向けて組合が果たすこと」をテーマに講演。森下氏は、19世紀に五常

講という日本初の協同組合を組織した二宮尊徳が提唱した「仁義礼智信」という思想について触れた後、現代の組合におけるSDGsへの取組みやDX等のデジタル化への対応状況について県外事例を交えて紹介。組合には、著しい環境変化に適応する柔軟性や組織の目的と理念の明確化、新陳代謝が重要だと強調した。「日本は世界的に見ても創業100年以上の長寿企業が多い国であり、企業のみならず組合も、自分では見ることができない100年先の未来を見据

えて活性化の原点となる理念を作ること、また環境変化に応じて青年部や若手組合員等による次世代の組合事業を創造する取組みが大切である」と示唆を受けた。

講演会は、本会会員等約120名が聴講し、創立70周年に相応しい華やかなものとなった。

（組織支援部 斧村）



講演会の様子

経営改善とビジネスモデルを学ぶ

セミナー開催

本会は、10月29日に米子市「AN Aクラウンプラザホテル米子」、同30日に鳥取市「ホテルニューオータニ鳥取」の2会場で、持続的な経営を実現するための「経営改善計画」と「ビジネスモデル構築」をテーマにしたセミナーを開催した。

セミナーには、プライベートバンカー・上野英雄氏とTeam経営参謀・代表・村上弘樹氏を招聘し2部構成で実施。上野氏は、経営改善計画は金融機関との信頼維持や資金調達、業績不振の原因把握に有効であると説明し、計画策定にあたっては「現状分析」「改善方針」「実施計画」「数値計画」「モニタリング計画」を柱に、実効性ある計画づくりの重要性を強調した。

村上氏は、利益を生む仕組み「ビジネスモデルの見直し」を提唱。居酒屋がBtoCからBtoBへ転換し、新たな収益モデルを築いた事例を紹介し、「誰に・何を・どう届け・どう

収益化するか」の整理が鍵であるとともに、一人で悩まず業種の違う仲間と話しながら考えることで良いアイデアが生まれると説明した。参加者からは「新たな視点を得られた」「実践に生かせる内容だった」といった意見があるなど、有意義なセミナーとなった。

(組織支援部 柳原)



セミナーの様子

職場のハラスメント防止について

理解を深める

新鳥取駅前地区商店街振興組合(理事長・真嶋茂氏)は、10月28日、本会制度改正等の課題解決環境整備事業を活用し、鳥取市「新鳥取駅前地区商店街振興組合・会議室」において研修会を開催した。

講師に、社会保険労務士法人M OYORINO・特定社会保険労務士・尾崎貴絵氏を招聘し、「職場におけるハラスメント防止」をテーマに、セクハラ・パワハラ・マタハラ等の定義について事例や判例を交えて説明を受けるとともに、令和8年10月頃よりカスハラ防止措置が施行されることを踏まえた企業の対応や、就職活動等セクシヤルハラスメントへの対応についても示唆を受けた。

質疑応答では、ハラスメント防止と職場のコミュニケーションのあり方等について、活発に意見交換が行われた。

参加した組合員からは、「ハラス

メントについて理解が深まり、特にカスハラは周知・対策の必要性を感じており、今後の参考になった」との意見があるなど、非常に有意義な研修会となった。

(総務部 石川)



研修会の様子

事業承継並びに
スタートアップ支援策の拡充・強化
災害に強い地域づくりと自然災害等からの
速やかな復旧・復興支援の強化
中小企業組合等連携組織対策の
大幅な拡充

地域中小企業の実情を踏まえた
労働・雇用・社会保険料対策の推進
人材の確保・育成と生産性向上による
持続可能な成長支援の拡充
コスト上昇の価格転嫁を
迅速かつ完全に促進する経営環境の整備



つながる ひろげる 連携の架け橋 ～夢を語ってはしゃぎん祭! 轟轟(GoGo)と突き進め～

「第77回中小企業団体全国大会」開催 次期開催は熊本県で

11月12日、広島県広島市「広島県立総合体育館」において、全国
の中小企業団体の代表者等約2,100名、うち本県から81名が
参加して、第77回中小企業団体全国大会が盛大に開催された。

第77回を迎える本大会は、「つ
ながる ひろげる 連携の架け橋
～夢を語ってはしゃぎん祭! 轟
轟(GoGo)と突き進め～」を
テーマに、全国から中小企業団
体の代表者等約2,100名が参
集、中小企業が直面する諸問題
の解決と持続的な成長に必要な
施策について決議した。

大会で、全国中央会森洋会長
は「現下の最優先課題は、人手
不足と賃上げ。この経営課題解
決のために、労務費等の価格転
嫁の促進や生産性向上のための
省力化設備投資、販売価格にお
ける新分野・新事業の展開、従
業員等のリ・スキリング等への
対応など課題が山積する中、中
小企業・小規模事業者がこの難
局を乗り越えるために必要な取
組みを積極的に支援していく所
存である」と挨拶、鈴木農林水
産大臣をはじめ、各関係機関よ
りビデオメッセージを頂いた。

議事では、「中小企業・小規模
事業者等の経営環境変化対応、
成長促進支援等の拡充」、「中
小企業・小規模事業者の実態を踏

まえた労働・雇用・社会保険料
対策の推進」、「中小企業・小規
模事業者の積極的な事業活動を
支える環境整備」など、地域を
支える中小企業の持続的な発展
を実現するため、中小企業対策
の拡充に関する15項目の決議案
が可決され、本大会の意義を内
外に表明する『大会宣言』が採
択された。

また、優良組合38組合、組合
功労者73名(本県2名)、中央会
優秀専従者25名に、全国中央会
会長より表彰状が授与された。
最後に次期開催地が熊本県で
あることが発表された。

決議事項

I. 中小企業・小規模事業者等 の経営環境変化対応、成長促 進支援等の拡充

1. 喫緊の経営課題の解決に向
けた支援の拡充・強化
2. 中小企業・小規模事業者の
成長促進、持続的発展に向け
た中小企業組合等を活用した
支援の拡充・強化
3. 中小企業団体中央会の支援

体制・予算の抜本的拡充、中
小企業組合制度の活用拡充・
運用改善

4. 強靱かつ活力ある地域経済
社会の実現、持続可能な地域
振興

II. 中小企業・小規模事業者の 実態を踏まえた労働・雇用・ 社会保険料対策の推進

1. 最低賃金制度の適切な運用・
在り方
2. 外国人技能実習制度から育
成就労制度への円滑な移行の
推進
3. 中小企業・小規模事業者に
配慮した働き方改革と社会保
険制度の構築
4. 中小企業・小規模事業者の
人材育成・確保・定着対策

III. 中小企業・小規模事業者の 積極的な事業活動を支える環 境整備

1. 中小企業金融施策の拡充
2. 中小企業・組合税制の拡充
3. 中小製造業等の持続的発展
の推進
4. エネルギー・環境対応への
支援の拡充
5. 卸売・小売業・まちづくり
の推進に対する支援の拡充
6. サービス業支援の強化・拡
充
7. 官公需対策の強力な推進

祝 栄えある秋の褒章

このたび秋の叙勲におきまして、本会より次の方が栄に浴されました。

《藍綬褒章》

本会理事

鳥取県酒造協同組合理事長



田村 源太郎氏

「久米桜酒造」の7代目として、長年にわたり酒類製造に携わり、2024年に鳥取県内の酒蔵でつくる県酒造組合会長に就任。全国地ビール醸造者協議会会長も務め、酒造業界の発展に尽力された。

祝 全国大会会長表彰

《組合功労者》

本会常任理事東部副支部長

協同組合鳥取鉄工センター理事長

木下 貴啓氏

本会常任理事

鳥取県輸送縫製品工業協同組合理事長

荒井 敏博氏

第77回中小企業団体全国大会決議【重点事項】

背景・目的

- 頻発する自然災害、国際情勢の不透明感、エネルギー・原材料価格の上昇、人件費増加等により引き続き厳しい経営環境にある中、十分な価格転嫁が進まず、物価上昇を上回る賃上げや設備投資の原資確保に苦しみ中でのコスト高、既往債務返済のための資金繰り、後継者不足等、事業の継続が難しくなる事業者も増えるなど中小企業・小規模事業者の経営課題は山積している。
- 中小企業・小規模事業者が難局を乗り越え、地域経済を支え続けるためには、事業者やそれらが協同して経営資源を補完・補強し合う組合等に対する国等からの支援策が不可欠である。
- 物価高等で困窮する中小企業・小規模事業者が安心して事業と雇用が継続できる環境の整備や取引適正化への支援、事業者の実態に即したDXやGXの推進、新分野展開や生産性向上の支援等をこれまで以上に、持続的な成長と発展、豊かな地域経済社会の実現に向け、全国約3万の組合等からの生の声を踏まえた本決議事項の実現を国等に強く求める。

I. 中小企業・小規模事業者等の経営環境変化対応、成長促進支援等の拡充

1. 喫緊の経営課題の解決に向けた支援の拡充・強化

- (1) 物価高騰の抑制に向けた国主導の経済対策の推進、安定的・持続的な成長発展のための総合的な支援策の実施
- (2) 国主導による下請取引環境の改善や商慣習の適正化、価格交渉に係る環境整備の更なる拡充、健全な経営環境の構築・整備、支援策の拡充・強化
- (3) 施策の総動員による、業績の改善・向上を伴う賃上げ原資の確保に向けた環境整備、支援策の強化・拡充
- (4) サプライチェーンの強靱化、下請取引の適正化、下請法の遵守

2. 中小企業・小規模事業者の成長促進、持続的発展に向けた中小企業組合等を活用した支援の拡充・強化

- (1) 中小企業組合を活用した事業承継・引継ぎ支援体制の強化・拡充
- (2) スタートアップの対象として企業組合制度の活用・充実、スタートアップ支援策の強化

3. 中小企業団体中央会の支援体制・予算の抜本的拡充、中小企業組合制度の活用拡充・運用改善

- (1) 組合の新規設立促進、連携組織の挑戦への伴走支援を推進する中央会の事業費、特に人件費の十分な確保
- (2) 地域経済の要として人的結合の基盤を成す組合等連携組織の特性や潜在力を引き出す支援策の展開

4. 強靱かつ活力ある地域経済社会の実現、持続可能な地域振興

- (1) 度重なる災害により被害を受けた中小企業への設備等の復旧のための支援の継続、経営再建・事業継続のための支援事業等に万全の措置の実施
- (2) 組合等連携組織を活用したBCP・BCMIに対する支援強化、危機管理体制整備への支援措置拡充BCP策定後の定期的な見直し、実行および有効活用のための継続的なフォローアップ体制の強化
- (3) 地域の実情に応じた社会インフラの整備・予算確保
- (4) 特定地域づくり事業協同組合制度の柔軟な制度設計や支援の拡充

II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進

1. 最低賃金制度の適切な運用・在り方

- (1) 最低賃金は中央・地方最低賃金審議会での三要素のデータに基づいた合理的で納得感のある審議により決定
- (2) 地方最低賃金審議会での審議は隣接地域の事情等に配慮せず、地域の実態や事業者の支払能力を踏まえて決定
- (3) 最低賃金の発効日は地方最低賃金審議会が審議柔軟に決定

2. 外国人技能実習制度から育成就労制度への円滑な移行

- (1) 育成就労産業分野は現行の技能実習制度2号移行対象職種を網羅し、特定産業分野は生産性向上支援策等を講じてもお手不足感の強い分野・業務を設定
- (2) 技能評価には身体の動きを伴う実技試験の活用・特定技能1号評価試験のレベルの引上げ
- (3) 国内監理支援機関と密接な関係を有する送出国の除外
- (4) 日本人の雇用を妨げない外国人の適正な受入れ人数の設定
- (5) 地域協議会設置による所管行政庁へ上申できる仕組みの構築

3. 中小企業・小規模事業者者に配慮した働き方改革と社会保険制度の構築

- (1) 雇用保険財政運営の抜本的な見直し
- (2) 「年収の壁」に対する支援策の実施・制度の抜本的な見直し

4. 中小企業・小規模事業者の人材育成・確保・定着対策

- (1) 人材の確保・育成に伴う支援策の強化・拡充

III. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

1. 中小企業金融施策の拡充

- (1) 事業継続に資する金融支援策の継続・拡充・条件緩和、借入金の負担軽減、切れ目のない支援の継続、各種支援窓口の充実・強化、手続の簡素化
- (2) 経営力向上計画に認定された設備投資に係る利子補給制度の創設
- (3) 資本性劣後ローンの取組み強化のための要件の見直し
- (4) 多重債務問題軽減のための利子負担の軽減や高度化資金の減免、商工中金・日本政策金融公庫等が「借換え等」に応じやすくなるための措置

2. 中小企業・組合税制の拡充

- (1) 中小法人・組合の法人税率の軽減措置の恒久化、中小企業組合への措置拡充（企業組合、協業組合）
- (2) 事業承継税制の特例承継計画の提出期限の延長、特例措置の延長手続きの簡素化
- (3) インボイス制度について、導入に伴う経過措置の延長・恒久化、実態に応じた柔軟な運用、事業協同組合の共同事業に係る特例の創設
- (4) 少額減価償却資産の損金算入制度の恒久化と限度額の引上げ

3. 中小製造業等の持続的発展の推進

- (1) 「ものづくり補助金」の継続、拡充、要件の緩和、申請手続きの簡素化、フォローアップ支援事業における役割の見直しと予算の拡充
- (2) 「省力化投資補助事業」の要件拡充、対応の迅速化に向けた体制強化
- (3) サプライチェーンの強靱化、下請取引の適正化、下請法の遵守
- (4) 中小企業・小規模事業者の知的財産権の保護、侵害抑止の強化、価格基準のみならず業務遂行能力を十分に考慮した知財総合支援窓口等の選定

4. エネルギー・環境対応への支援の拡充

- (1) 電力・ガスの安定供給とエネルギーコストの負担軽減の対策強化
- (2) 省エネ関連補助金の継続、拡充
- (3) カーボンニュートラル達成に向けて取り組むために必要な支援措置
- (4) 老朽化した特別高圧受電設備の更新のための補助金の創設

5. 卸売・小売業・まちづくりの推進に対する支援の拡充

- (1) 商店街・商業者を軸に据えた包括的・中長期的な地域の商業支援策の実施
- (2) 設備投資の増進や各種手数料負担への支援策の強化拡充

6. サービス業支援の強化・拡充

- (1) 高速道路の利用促進、デジタル・AI技術の導入、共同配送ネットワークの充実、総合的な物流対策の強化、労働環境の改善支援
- (2) 国内外の幅広い消費喚起策、誘客促進等支援、インバウンド需要獲得と供給力増進に向けた対応・対策

7. 官公需対策の強力な推進

- (1) 自然災害の復旧・復興への緊急随意契約・前倒し発注の実施など官公需適格組合等の積極的活用、災害協定等締結等の官公需適格組合等への平時における優先発注・インセンティブ付与
- (2) 物価に負けない賃上げ実現のための官公需における価格転嫁の推進、国及び地方公共団体等の発注機関への周知・指導の徹底
- (3) 予定価格積算の調査・額の決定方法の統一と適正な単価設定、コスト上昇分の確実な盛り込みを含む予定価格の見直し、受注後の契約金額の変更及び入札参加機会の確保のための迅速かつ柔軟な対応
- (4) 少額随意契約の正確な広報、原材料費・人件費等の上昇、消費税率引上げ等を勘案した適用限度額の継続的な見直し、実勢価格に応じたより一層の引上げ

自社SSの人材不足を解消するため 若手従業員のやりがいのある職場づくりを学ぶ

鳥取県石油協同組合（理事長・坂口元昭氏）は、10月22日、エースパック未来中心において、本会の連携組織付加価値向上事業を活用し研修会を開催した。

このたびの研修会では「SSの人材不足を解消するために必要なこと」をテーマに、株式会社NEXT・代表取締役の佐久間啓氏を招聘し、採用する従業員の「見える化」や面接シートの作成、職場の環境整備など採用・定着に向けた対策について学んだ。

佐久間講師は、採用活動や自社定着の大切なポイントとして、対象者

を絞って計画を作り、自社を謙虚に見直すこと。仕組みができれば人材が入ってくるが、採用担当者は今いる従業員にも興味を持って欲しいと述べ、特に若手従業員や女性スタッフを採用したいSSは、サービスルームや休憩スペースを片付けることも有効で、会社の規模に関係なくアイデアでどうにかなる部分も多く、今働く従業員の満足度にもつながることを強調された。

また人材が定着する会社の特徴としては、採用する従業員の技術習得や会社の企画・販促への参画、外部研修への参加など、入社5年目まで



研修会の様子

からは「自社の人材確保に対して準備ができていないと実感した」、「自社に持ち帰ってできることから実行したい」といった意見が聞かれるなど大変有意義な研修となった。

（組織支援部 北浦）

組合青年部による家電特価市を開催！

鳥取県電器商業組合青年部（会長・船原有貴氏）は、本会の連携組織付加価値向上事業を活用して、10月18日・19日の両日、米子市末広町「米子コンベンションセンター情報プラザ」において家電特価市を開催した。

本イベントには「農と食のフェスタinせいぶ」の開催日に合わせ出店。家電特価市では各組合員が持ち寄った家電の新品や新古品の在庫、程度の良い中古品の出品を行い、会員の販売促進を図った。



家電特価市の様子

また、組合の周知活動として鳥取県電器商業組合のこれまでの歩み、活動の紹介をまとめたパネルを展示するなど組合活動について積極的にPRを行ったほか、クレーンゲームやミニ四駆体験など子供向けの企画を計画し、400名を超える多くの来場者で賑わった。

来場者からは「街の電気屋さんの中古品なので安心して購入できた」、「かなり状態の良い家電を格安で手に入れることができた」などの声が聞かれ、非常に有意義なイベントとなった。

（企画振興部 安陪）

鳥取県における 社会資本整備の方向性

鳥取県生コンクリート工業組合（理事長・山根正樹氏）は、11月4日、鳥取市「白兎会館」において、本会SDGs・カーボンニュートラル普及・対応支援支援事業を活用し、社会資本整備への理解促進を目的として、専門家の講義を受けた。

専門家に、鳥取県県土整備部・河川港湾局長・村尾修一氏を招聘し、「鳥取県における社会資本整備の方向性」をテーマとして、国土強靱化計画の概要や防災・減災事業の取組、鳥取県におけるインフラ整備の状況等の示唆を受け、社会情勢の変化や災害教訓を踏まえた強靱化施策について理解を深めた。

また、講演会後には専門家との意見交換会が実施され、「生コン品質のさらなる向上」「需要開拓」「生コンの価格政策」をテーマに活発な意見が交わされ、今後の事業運営の一助となる大変有意義な研修となった。

（企画振興部 名越）



研修会の様子

多彩な催しで地域の「福高」と 映画「遙かな町へ」を盛り上げ

倉吉銀座商店街振興組合（理事長・小林健治氏）などで組織する福高祭2025実行委員会は、10月19日、「福高祭2025」を開催した。

鳥取県中部地震からの「復興」を、福を高める「福高」へ繋げるため実施しているもので、9回目となる今回は、「福高祭2025」を遥かな町へ」をテーマに実施。今夏、白壁土蔵群周辺がロケ地になった映画

画「遙かな町へ」の錦織良成監督のトークショーや原作漫画に登場する街並みを巡るウォーキング、湯梨浜学園の生徒による書道パフォーマンス、人気グルメが並ぶ福高マルシェなど、多彩な催しが主会場である「打吹回廊」を中心に、歩行者天国になった倉吉銀座商店街で繰り広げられた。

当日は、多くの来場者で賑わい、フィナーレとなるバルーンリリース



福高祭の様子

スでは、全員が一斉に風船を空に飛ばして地域の「福高」と「映画「遙かな町へ」の成功」を願った。

〈企画振興部 森本

組合青年部全国講習会 in 岩手



全国講習会の様子

「組合青年部全国講習会」に参加した。

当講習会には全国から約250名が参集し、本県からは3名の会員が参加した。

第一部の講演会では、「日本経済の現状と、これからの金融・経済政策」をテーマに、(株)政策工房・代表取締役会長・高橋洋一氏より講話をいただいた。

第二部の講演会では、「リスクマネジメントと情報セキュリティ対策」と題して、(独)情報処理推進機構の白川浩氏より、企業経営におけるリスクマネジメント、情報セ

キュリティ10大脅威、リスクマネジメントとしての情報セキュリティ対策などについて講話いただいた。大手企業が被害にあうとニュースになるが、中小企業が被害にあっても取り沙汰されることが少ないため、中小企業は攻撃されないというのは誤った認識であり対策は不可欠である旨示唆を受けた。また、こうした対策に向けた各種支援策についても紹介いただき、有意義な内容であった。

懇親会では、達増岩手県知事を始め多くの来賓を迎え、盛大に開催され、また、岩手県ならではの催しを通じて親睦を深めた。

〈企画振興部 山崎

レディース中央会 全国フォーラム in あいち

鳥取女性中央会（会長・灘本陽子氏）は、10月29日、愛知県名古屋市中区「ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋」にて開催された「レディース中央会全国フォーラム in あいち」に参加した。全国から約250名が参加し、鳥取県からは3名が出席した。

まず、藤田医科大学特命教授の大塚耕平氏より「愛知の歴史に学ぶ産業史」と題した基調講演があり、愛知県は歴史を通じて政治と産業の要として発展し、地形や交通の利点を生かして産業クラスターを形成してきたことなど多くの示唆を受けた。続いて「地域の特色ある産業や取り組み（お国自慢）」をテーマに全員参加型のグループディスカッションが開催され、活発な意見交換が行われた。参加者からは「多くの気づきや学びが得られた」との声が寄せられ、大変有意義な時間となった。

引き続き交流会が開催され全国の女性部メンバーと交流しそれぞれのネットワークの拡大を図った。

〈総務部 倉持



全国フォーラムの様子

原材料、労務費等 コスト負担の増加が継続

最低賃金の改定や物流コストの増大により 先行きは不透明

～景況DI値は、前年同月比13.2ポイント低下のマイナス36.9～

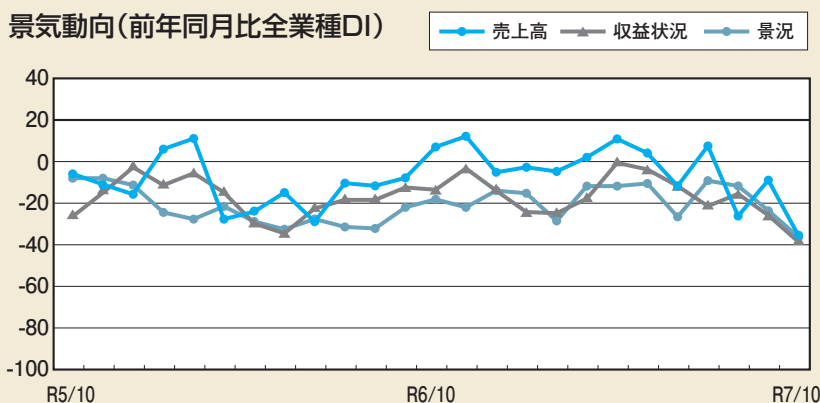
情報連絡員だより

10月

県内中小企業の景況は、全業種景況DI値は、前月比2.7ポイント上昇のマイナス13.1、前年同月比13.2ポイント低下のマイナス36.9となった。製造業では、原材料やエネルギーコストの高止まりが続く中、米国関税の影響による材料調達の遅延や価格上昇が収益を圧迫しているほか、需要の回復は限定的で、受注の伸び悩みや人手不足への対応、賃上げなど経営負担の増加が課題となっている。非製造業では、観光シーズンを迎え人流が増加し一定の景気回復が見受けられる一方、物価高騰による消費意欲の低下が小売、飲食分野を中心に影響している。運輸業や卸売業では燃料費や人件費の上昇が続き、収益を圧迫している。県内景況は、エネルギーや原材料費、労務費等の上昇によるコスト負担の増加が続くなか、価格転嫁の困難さや人材確保の遅れが経営を一層ひっ迫させている。今後も最低賃金の改定や物流コストの増大が懸念され、先行き不透明な状況が続いている。

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

景気動向(前年同月比全業種DI)



製造業

【食料品】

原材料高(特に鶏卵)の高止まりと人件費の増加により、いかに販売価格の値上げをするかが喫緊の課題になっている。味噌・醤油の業界は原材料の米の価格は令和7年度産も高騰が続いており、生産コストを押し上げている。

【繊維・同製品】

来年の春・夏物の受注動向に特に大きな変化は見られず、秋物についても

不調に終わり、追加受注はない。

【家具・装備品】

売上高は前月比、前年同月比ともに減少、収益状況も前月比、前年同月比ともに悪化となった。

【木材・木製品】

製材用素材の入荷量は前月比で微増、前年同月比で減少、製材品、合板の生産量は前月比で増加となった。プレカット加工の稼働率は前月比320%、前年同月比は75%で推移した。

【紙・加工品】

売上高は前月比で増加、前年同月比で同水準となった。

【印刷】

前月に引き続き秋篠宮家の次女佳子さまが因州和紙を使用したイヤリングを着用された効果によりネット注文が続いている。印刷はスポーツ、食べ物、芸術等季節関連の受注やイベント、セミナー、カニ等の印刷があった。

【窯業・土石製品】

東部地区の10月の出荷量は、前年同月比75.8%となり、3か月連続で減少した。前月比では100.2%とほぼ横ばいで推移しており、全体として底堅い動きが見られる。中部地区では、前年同月比73.0%にとどまり、7か月連続で前年実績を下回った。また、4月から10月までの累計出荷量も前年同期比70.9%と低水準で推移している。西部地区では前年同月比75.8%と前年を大きく下回った。この要因としては、前年9月・10月に民間の大型物件が稼働していた反動減の影響が大きいとみられる。

【金属製品】

県内の機械金属加工業者は、生産活動は一部の業種で持ち直しの動きがみられ、特に自動化設備や省力化機械など、企業の生産性向上ニーズに関連する分野では受注が堅調に推移している。また、県内製造業全体としても設備投資意欲が徐々に回復し、協力企業間での取引量にもわずかながら増加傾向がみられる。

【鉄骨加工】

手持ち工事量、稼働率、見積物件の件数とも格差が続いている。年度末にかけて中西部では大型物件の発注があり、東部では年末にかけて中規模程度の発注が見込まれることに期待が持たれる。

【金属熱処理】

10月の加工料収入は前月比では増加したものの、前年同月比では減少した。エネルギー関連部品の熱処理依頼は引き続き好調を維持しているが、その他の自動車、産業機器部品の依頼品は低迷気味である。

【電気機器器具】

米国関税の影響により材料の不足や生産調整で計画変更が多発している。安定生産に支障をきたしており、収益確保が厳しい状況。設備投資や賃上げ等への対応に苦慮している。

非製造業

【卸売業】

青果関係では、売上高、取扱数量は前月比、前年同月比ともに減少した。鮮魚関係では売上高、取扱数量は前月

比、前年同月比ともに減少した。単価については前年同月比で増加傾向が続いている。事務機器関係では、前年同月比では工事の大型案件があったため売上高、収益状況ともに減少となった。

人材確保が難しくなってきたうえ、最低賃金の上昇による人件費上昇が懸念されている。日銀の利上げ基調の影響について、各金融機関の住宅ローンが利上げ基調で今後の影響が危惧される。米国関税の合意も、従来からの関税上昇の影響が懸念され先行き不透明感は強まっている。水産物関連では、時化模様の日が多く巻き網は大型船団によるブリ類、中型船団はツバス中心の水揚げとなりアジ、サバ、イワシは不漁に終わり全体の水揚げ量は昨年を大きく下回った。紅ズワイ漁は安定的な水揚げが続く昨年より水揚げ量も2割近く増加し、年末需要の思惑買いもあって、浜値段は高値で推移した。

取扱品物の発生数量は、若干の減少が見受けられる。価格は一部品目が上昇傾向にある。

【リサイクル原料】

取扱品物の発生数量は、若干の減少が見受けられる。価格は一部品目が上昇傾向にある。

【小売業・商店街】

鳥取市の商店街では、10月は街区子育て支援施設による商店街店舗でお菓子を貰って回るハロウィンパレードが行われ、多くの子供連れの来場者で賑わった。物価高騰が影響し、消費者の財布の紐は引き続き固く、生活防衛の色が濃く出ている。小売も飲食も価格転嫁により売上は増加しているも、原価などコストの上昇の方が大きく厳しい状況。鳥取市の水産物小売では、10

月の入込数は前月比で減少、前年同月比は概ね横ばいで推移した。倉吉市の商店街では、鳥取県立美術館のオープン以来、倉吉への入り込み数は増えているものの、中心市街地のほか白壁土蔵群や円形劇場、小川家住宅、さらには倉吉銀座商店街への入り込みへはつなげていない。倉吉銀座商店街で実施した『福高祭2025』は、昨年と比較して入り込み数が大幅に減少した。

今年の『福高祭』は『遙かな町へ』と言うテーマで映画撮影をしていた。た錦織良成監督や、出演された多くのエキストラの皆さんにお集まりいただき、撮影でのエピソードを語り合っていた。米子市の商店街では、学生によるフィールドワークが活発に行われ、中学、高校の授業受け入れも実施した。集客については前年と同様の水準で推移したが、やや人の動きが鈍い印象も見受けられた。

【旅館・観光】

鳥取市の鳥取砂丘では、暑さもひと段落し、秋の観光シーズンということとで、多くの人手で賑わった。月末の鳥取砂丘ハロウィンイベントにミヤクミヤクが来るなど、地元や全国ニュースで取り上げられ賑わいをみせた。米子市のホテル・旅館では、恒常的に人材不足が続いている。売上高は前月比、前年同月比ともに減少となった。三朝温泉では、平日は天候不良もあったほか、特に万博終了間際から一気に減少傾向となった。羽合温泉では、10月の宿泊は前月比で約35%増加、前年同月比で概ね横ばいとなった。インバウン

ドのお客様が増加したことで昨年並みの宿泊数となった。

【自動車整備業】

10月の新車は普通車・軽自動車を含めて2,137台で前月比6.4%、前年同月比3.9%とともに減少となった。中古車は普通車・軽自動車を合わせて619台で前月比5.9%、前年同月比は3.0%とともに減少となった。継続検査は普通車・軽自動車を合わせて15,646台で前月比は7.3%の減少、前年同月比は1.4%の増加となった。

【建設業】

9月の県内公共工事発注（西日本建設業保証(株)保証取扱）は、請負金額151億円、件数162件となった。年度累計は請負金額633億円、件数985件。地区別では、日野地区で大幅増加、西部地区で増加、中部地区は前年並み、東部、八頭地区で減少となった。設備投資は3か月平均で前年同月比プラスに振れ、公共投資も単月、年度累計ともにプラスに振れる。一方、住宅投資は3か月平均で大幅なマイナスが続く。

【運輸業】

10月の物流は、飲料関係や農産物の輸送が好調で物流量としては増加となった。依然としてドライバー不足は深刻で時間外労働規制を背景に、スポット運賃は高止まりが続いている。売上は前月比、前年同月比ともに増加となった。軽油取引税の旧暫定税率が2026年4月に廃止することとなったものの、今後も厳しい状況に変わりはない。

(情報連絡員 38名)

インターンシップから採用へ

企業セミナー&学生との交流会を開催！

本会では鳥取県より受託している「ととトリインターンシップ推進事業」において、9月26日、「求める人材要件に基づく受入プログラム設計」をテーマに、企業向けセミナー・学生との交流会を開催した。

提案があり、プログラムの改善につながる機会となった。
企業担当者からは「人物の言語化について『明るい人』や『やる気のある人』など曖昧な表現を使いやすいが、『具体的に改善提案できる人』や『他者の意見をまとめ実行に移せる人』など行動を表現する手法を学ぶことができた」など意見があり大変有意義なセミナーとなった。

(組織支援部 北浦)

本セミナー(中級編)では、L i f e f i x 合同会社代表社員兼 CEO の山口翔馬氏を招聘し、自社が求める人物要件の言語化、自社プログラムの改善・整理とともに、自社プログラムに対する参加学生との意見交換など交流会を開催した。

山口講師からは「自社の求める人物像を、行動で確認できるプログラムに落とし込む、学生の学びを深め、企業の評価や採用に結び付ける振り返りの仕組みをつくる、講義やワークショップを通じて自社の改善点をみつける」など、インターンシップから採用につながる具体的な手法についてアドバイスをされた。

また、学生との交流会では、学生の参加してみたいプログラムの



参加学生との交流会風景

将来の
産業人材を
地域みんなで
育てよう！

令和7年度

ととトリインターンシップ 登録企業募集！

企業のみなさまへ

登録料手数料は一切不要
初めての企業にも充実サポート

ととトリインターンシップとは

鳥取県内の産・官・学が主催するインターンシップ・仕事研究の取組で、窓口一本化による効果的な活動を通して学生の地元定着に繋げていくことを目的としています。

※窓口は中央会が担当

インターンシップ受入のメリット

- 学生が参加することで、企業の仕事や製品に興味を持ち、将来の人材と顧客の確保につながります。
- 企業の社会貢献に学生も参加することにより、地域社会での認知度や信頼感が高まります。
- 従業員が人材育成を経験することで、従業員の指導力向上と職場の活性化につながります。
- 地域で活躍する企業として将来的な人材育成に貢献できます。

種別 どのプログラムでも目的に応じたりリモート型の実施や対面型と組み合わせたハイブリッド型も可能です。

ワンデー仕事研究(1日)
業務負担が少ない1日で企業概要を理解してもらう

短期型(2日以上)
現場やロールプレイングで仕事を体験してもらう

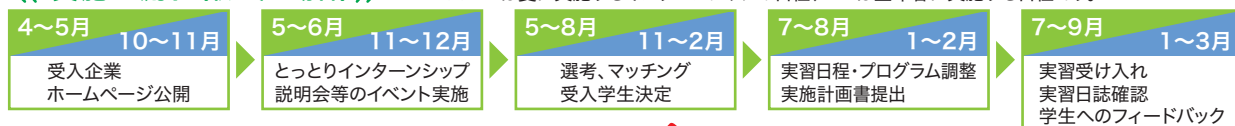
有償型(10日以上)
自社や業界を深く知ってもらい、学生視点の取り込みで社内の活性化にも役立つ

パッケージ型(5日程度)
複数の企業体験や暮らす体験など、様々なプログラムを複合的に体験してもらう

タイプ3型(5日以上)
一定の基準を満たせば取得した学生情報を広報や採用活動に使用可能
(詳しくは問い合わせください)

実施の流れ(秋・冬の場合)

※ 緑は夏に実施するインターンシップの日程、青は翌年春に実施する日程です。



登録方法はとっても簡単！

「プログラム登録から運用までWEB上で一括管理」

- ① まずはアカウントを新規登録
- ② 企業プロフィールを入力
- ③ 実習プログラムを入力して登録申請
- ④ ホームページ上で公開され学生募集開始

まずはととトリインターンシップのホームページをご確認ください

URL : <https://www.tottori-internship.net/company>



企業の声

- 鳥取で働くことを希望する学生と接点を持てる良い機会となっています。
- 学生とのマッチングはシステムで進捗が確認できるので大変助かっています。
- 参加学生との交流会は、学生のリアルな声を聞くことが出来、プログラムのブラッシュアップにつながっている。
- コーディネーター(さん)には学生との日程調整などで大変お世話になっています。

持続的な賃上げ・生産性向上支援補助金のご案内

物価高騰による厳しい経営環境が続く中であっても、一定水準以上の賃金引上げを行う県内中小企業者の生産性向上や人材育成等を図る取組を支援します。

【申請受付期限】
令和7年12月26日(金)

補助金額 【一般型】
最大 500万円

補助金額 【大規模成長投資型】
最大 1,500万円

■補助対象者 以下の要件を満たす鳥取県内に主要な事業所を有する中小企業者等(従業員のいる個人事業主も含みます。)が対象です。

1. 従業員の賃金引上げ
令和5年10月以降の任意の3ヶ月間を比較して従業員等1人当たりの平均給与支給月額を引き上げること。
2. パートナースhip構築宣言
詳しくはパートナースhip構築宣言ポータルサイトをご確認ください。
3. 付加価値額の向上(大規模成長投資型のみ)
付加価値額が3年間で9%以上伸びることが見込まれること。
4. 従業員の賃金の継続的な増加(大規模成長投資型のみ)
1人当たり人件費が3年間の年平均で3%程度増加することが見込まれること。

●認定時期 【一般型】随時

●事業期間 認定日から最長令和8年2月末まで

【大規模成長投資型】申請日の翌月の下旬(予定)

※外部審査会による書面審査があります

詳細は鳥取県ホームページに掲載の募集要項でご確認ください。

【お問合せ窓口】

鳥取県商工労働部 企業支援課(鳥取県持続的な賃上げ・生産性向上支援補助金事務局)

TEL:0857-26-7988 URL:https://www.pref.tottori.lg.jp/318420.htm



米国関税の影響に伴う経済変動の影響を受けた 事業者向け融資制度のご案内 【地域経済変動対策資金】

【取扱期間】
令和7年12月31日(水)
申込受付分まで

【制度の内容】

- 概 要 米国関税の影響に伴う経済変動の影響を受けた中小企業の皆さまを対象に、経営の安定や事業継続に必要な資金を円滑に供給するための融資です。
- 融資対象者 米国関税の影響に伴う経済変動により、次のいずれかの要件を満たすもの
ア 最近3か月間の売上高等が前年同期の売上高等に比べ5パーセント以上減少している者
イ 最近1か月間の売上高等が前年同月の売上高等に比べ5パーセント以上減少し、かつ、その後の2か月間を含む3か月間の売上高等が前年同期に比べ5パーセント以上減少することが見込まれる者
ウ 最近1か月の売上総利益率(売上総利益(損失)÷売上高)又は営業利益率(営業利益(損失)÷売上高)が前年同月と比べ減少している者
エ 融資実行希望月を含む今後3か月間の売上高等が前年同期の売上高等に比べ5%以上減少する見込みの者
- 資金用途 設備資金、運転資金又は借換資金
※借換資金は運転資金又は設備資金の借入に併せて行う場合に限りま。
- 融資限度額 2億8千万円
- 融資期間 10年以内(据置3年以内含む)
- 融資利率 年1.63%(変動金利)
- 保証 信用保証協会の保証が必要
- 保証料率 0.23%~0.68%(9区分)の範囲内で保証協会が決定

【お問合せ窓口】 鳥取県商工労働部 企業支援課 TEL:0857-26-7249

URL:https://www.pref.tottori.lg.jp/324838.htm



中央会新春セミナー&新年賀詞交歓会を開催します!!

と き 令和8年 **1月9日[金]**

ところ **ホテルニューオータニ鳥取**
(鳥取市今町二丁目153番地)



第1部

新春セミナー (鳳凰の間)

14時00分～15時30分

テーマ: 「偉人に学ぶお金の活用術
～知られざるお金の日本史～」

講 師: **河合 敦氏** (多摩大学客員教授/早稲田大学非常勤講師)

講演・執筆をはじめ、日本テレビ「世界一受けたい授業」、NHK「歴史探偵」、BSフジ「日本史の新常識」等テレビ出演多数。

第2部

中央会新年合同賀詞交歓会 (鶴の間)

16時00分～18時00分

会費: 7,000円 (事前振込)



新たな事業価値の創造

きつとみつける
いい人、いい仕事



「失業なき労働移動」の実現をめざす再就職・出向の専門機関



企業と人材を結ぶエキスパート

働く
6つの
取り
組
み
で
雇用
を
サ
ポ
ー
ト

- ① 離職する従業員の再就職をサポート
- ② 人材を確保したい企業に対するサポート
- ③ 「キャリア人材バンク」で高齢者の再就職をサポート
- ④ 雇用を維持するための在籍型出向をサポート
- ⑤ 社員の人材育成やキャリアアップの出向をサポート
- ⑥ 従業員のスキルアップや研修を目的とするセミナー (有料)

費用は
無料

公益財団法人 産業雇用安定センター (ジョブ産雇) 鳥取事務所

〒680-0835 鳥取市東品治町 102 鳥取駅前ビル 3 階

TEL 0857-20-1500 FAX 0857-20-1502

県内事業者の経営力向上に向けた 価格適正化と賃上げ相談窓口を開設!

物価高騰や人件費高騰などによる厳しい経営環境でも、価格適正化や賃上げを実現するため、価格転嫁や生産性向上、業務改善等の具体的な方法を企業経営の専門家に相談できる窓口を開設します。

●受付期間 令和7年3月3日(月)～令和8年2月27日(金)

●受付機関 鳥取県中小企業団体中央会

※本事業は鳥取県からの受託事業として実施します。

●受付先 電話 0857-26-6671

メール honbu@chuokai-tottori.or.jp

※電話による受付は、平日の午前9時～午後5時です。(メールは随時)

相談
無料

情報募集

『中小企業とっとり』に
組合の情報を掲載しませんか?

- ★イベントのPRをしたい
- ★組合の事業を紹介したい
- ★組合のニュースを
取り上げてほしい
などなど



お気軽にお問合せください!

【組合の情報掲載に関するお問い合わせ】

鳥取県中小企業団体中央会

企画振興部 TEL:0857-26-6671

または組合担当者まで

12月の倉吉出張所相談日のお知らせ

2日(火) 9日(火) 16日(火) 23日(火)

街のイルミネーションが灯りはじめ、「今年も終わるんだなあ」としみじみしてしまう季節になりました。12月は忘年会などで予定が詰まりがちですが、どうか無理をしすぎず、あたたかい飲み物でも片手に「ほっと一息」つく時間をつくってみてください。

先月の創立70周年記念式典には、たくさんの皆さまに足を運んでいただき、本当にありがとうございました。改めて当会が歩んできた道のりの重みと、これからの未来への期待を感じるひとときとなりました。

今年も残りわずかとなりましたが、どうかお身体に気をつけて、穏やかな年末をお過ごしください。(ナギシ)

編集後記

中央会・組合の12月行事予定

日	曜日	行事内容・時間・場所
2	火	組合BCP支援事業・専門家派遣 (対象:(協)和田浜工業団地) 10:30 和田公民館
		中国ブロック指導員研究会(工業) 13:30 福山ニューキャッスルホテル(3日まで)
4	木	事業承継ワークショップ 13:00 米子コンベンションセンター(5日まで)
5	金	連携組織付加価値向上事業 (対象:鳥取鉄工センター青年部) 13:00 防府ブリヂストン工場
		外国人技能実習制度適正化講習会 10:00 ホテルモナーク鳥取
8	月	団体協約普及推進事業・専門家派遣 (対象:(協)米子食品卸売市場) 10:30 東亜青果(株) 会議室
9	火	経営改善計画策定ワークショップ研修 10:00 米子コンベンションセンター(10日まで)
15	月	西部青年中央会12月例会 19:00 国際ファミリープラザ
		中部青年中央会12月例会 18:30 セブンデイズカフェ
		経営改善計画策定ワークショップ研修 10:00 とりぎん文化会館(17日まで)
16	火	(協)鳥取鉄工センター・(協)米子鉄工センター・ 徳島県鉄鋼(協) 組合間連携交流Web会議 13:30 オンライン
18	木	販路開拓支援事業・取引拡大セミナー 14:00 ホテルモナーク鳥取
		連携付加価値向上事業(対象:東部青年中央会) 19:00 ヴェルージュ
19	金	連携付加価値向上事業 (対象:建設業パートナーズ(協)) 17:00 ホテルニューオータニ鳥取
23	火	組合BCP支援事業・専門家派遣 (対象:(協)和田浜工業団地) 10:30 和田公民館



中央会は組合づくりのパートナー



中小企業組合の主な種類

事業協同組合

中小企業がお互いに協力し、助け合う精神（相互扶助の精神）に基づいて共同で事業を行い、経営の近代化・合理化と経済的地位の向上・改善を図るための組合です。

企業組合

個人事業者や勤労者等が集まり、個々の資本と労働を組合に集中して、組合の事業に従事し、組合自体が一つの企業体となって事業活動を行う組合です。

協業組合

組合員になろうとする中小企業者が、従来から営んでいた事業を統合し、事業規模の適正化、設備や経営の近代化及び合理化を図り、生産・販売機能の向上を図ろうとする組合です。

商工組合

業界全体の改善と発展を図ることを目的とする同業者組合です。

組合設立のメリット

共同事業を通じて、コスト削減や取引条件が改善される

中央会支援事業（補助金）や国、県等の補助金が受けられる

中央会を通じて、中小企業施策等タイムリーな情報が得られる

組合を通じて、国、県に要望等行うことができる

行政庁（鳥取県知事）認可法人として信用力のある法人となる

設立手続きから設立後も中央会のサポートが受けられる

組合をつくる効果

- (1) 取引条件の改善、販売促進、資金調達の円滑化、情報・技術・人材・マーケティング等の経営ノウハウの充実、生産性の向上等により経営の近代化・合理化を図ることができる
- (2) 業界のルールの確立、秩序の維持ができ、メンバー企業の経営の安定と業界全体の改善発達を図ることができる
- (3) 中小企業者の個々の意見や要望事項を組合でまとめることにより国の施策に反映させることができるとともに、組合を通じて、多くの中小企業施策を利用することができる

特定地域づくり事業協同組合制度

特定地域づくり事業協同組合制度とは、人口急減地域において、中小企業等協同組合法に基づく事業協同組合が、特定地域づくり事業を行う場合について、都道府県知事が一定の要件を満たすものとして認定したときは、労働者派遣事業（無期雇用職員に限る。）を許可ではなく届出で実施することを可能とするとともに、組合運営費について財政支援を受けることができるものです。

組合の設立・グループ創業についてのご相談は本会まで